

● 保育実技シリーズ ●

B5判 定価各1,000円 千各250円

1. うたであそぼう

中村 明・早川史郎・関口 準共著

子どもの能力にあったやさしいリズム表現の基本例から、先生のための応用例までがあげてあるため保育現場で活用できる。

2. 幼児の体育あそび 1

マット・ボール編 三宅照子著

マット遊びは、体の総用さを伸ばすのに有効で、ボール遊びは子どもにとって最も身近な遊びである。この二つの最も初歩的な指導方法を紹介している。

3. 幼児の体育あそび 2

なわ・平均台・とび箱編 三宅照子著

運動用具の正しい使い方、与え方をしめし、遊びのポイントや指導のツツの事例があげてあるため、子どもの能力に応じた発展計画をたてられる。

4. あたらしいあそび

幼児の安全能力を育てるために 幼児の安全保育研究会編著

「あたまからだ」こころ」のすべての面から、子どもの安全能力をのばすよう遊びの事例を通して指導しており、保育現場で活用できる。

5. 幼児のリズムあそび

フォークダンス・わらべうた編 日本フォークダンス連盟編

運動やあそびは、幼児の体の働きを高め、心の働きをも積極的に高める。幼児向きのフォークダンスとわらべうたの踊りと遊びの指導書。

6. 幼児の体育あそび 3

鉄棒・フープ・トランポリン編 三宅照子・桑原芳子共著

子どもがこわがらずにさまざまな道具にとり組めるためには、先生がたの補助の仕方が大きな意味を持つてくる。詳細にわたる補助の解説が大きな特徴。

7. ペープサート

山本駿次朗著

ペープサートの起源をさぐりながら基本から、脚本の作り方、応用面まで解説する入門書。保育の現場で役立つよう、多数の脚本と絵柄を紹介している。

8. 幼児の造形あそび 1

春夏編 桜井俊夫著

幼児の造形指導において、これだけはおさえておきたいポイントの解説と、実際の指導例を幼児の活動の流れにそってくわしく説明している。

9. 幼児の造形あそび 2

秋冬編 桜井俊夫著

この編では、子どもの発達にとって造形活動がいかに大切かを説くとともに、さらに豊富な指導例を掲載し、1・2合わせて、年間カリキュラムが立てられるよう配慮している。

10. みんなのあそび 12か月

うた・おどり・リズム編 上田順子著

「保育専科」連載より収録。子ども同士、子どもと先生同士仲よくなるように、うたったり、おどったり、スキップしたりなどの遊びを紹介する。

11. リズムであそぼう

中村 明・早川史郎共著

季節ごとの子どもの保育行事に関連した曲を探りあげて、特にリズム感の育成に重点をおいて、一曲ごとに詳細に振りつけ等の解説をする。

12. 保育のための人形劇

山本駿次朗著

ギニョール、マリオンネット、シルエット、紙人形等の使い方、人形劇への発表のさせ方、単純な脚本から複雑な脚本など、初心者にもわかりやすく解説する。

13. 幼児の体育あそび 4

プール・太鼓橋・雲梯編 三宅照子・桑原芳子共著

プールを中心とする水あそびについての指導法の基礎的な考え方や、子どもが水になれるための導入の遊びを発展させて、泳げる段階までの指導法について解説する。

14. 幼児の体力と運動あそび

近藤充夫著

幼児の体力づくりを、発達の姿に即して無理なく指導できるように、さまざまな運動能力のテストの実際と測定法、テストの活用の仕方など保育の場に役立つよう解説。